

平成26年度 静岡県立こども病院
細胞処理室改修空調設備工事

[illegible]

1 建設工事名
平成26年度 静岡県立こども病院細胞処理室改修空調設備工事

2 建設工事場所 静岡 (市) 葵 (町) 漆山 (地内)
都

3 建物概要

建物（棟）名称	構造	階数	改修範囲延床面積（㎡）	備考
H棟2階		地上2階		改修

4 工事科目 (○印のあるもの)

○空調設備、換気設備	給湯設備	医療ガス設備
・排煙設備	・消火設備	
・衛生器具設備	・ガス設備	
・屋内給水設備	・厨房機器設備	
・屋外給水設備	・浄化槽設備	
・屋内排水設備	・さく井設備	
・屋外排水設備	○撤去工事	

II 仕様

1 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書平成25年度による。

- ・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
- ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
- ・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
- ・公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）

2 標準図は以下による。

- ・建築工事標準詳細図 平成25年版
- ・公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成25年版
- ※公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成25年版

3 設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。

(1) 質問回答書(2)～(5)に対するもの (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書

(4) 図面 (5) 設計書 (6) 標準仕様書

4 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたもの適用する。

(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。

○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と※印のついた場合は、共に適用する。

例	適用
・A ・B ○C ※D	・C
・A ・B ・C ※D	※D
・A ・B ○C ※D	・C ※D

科目	項目	特記事項															
○一般事項	① 法令その他	この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とする工事にあつては、工事完成時までには検査を受け検査済証等の交付を受ける。															
	② 工事実績情報の登録	登録を行う。															
	③ 工事の一時中止	地方独立行政法人静岡県立病院機構建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。															
	④ 施工計画書	提出を要する施工計画書 (1) 総合施工計画書（仮設を含む。） (2) 工種別施工計画書															
	⑤ 施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。															
	⑥ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（改訂第3版）—建築設備編—」によるほか、監督職員の指示により撮影する。															
	⑦ 監理事務所及び現場事務所	※設けない○設ける（○既存建物内の一部を使用する・構内に新設する） 請負者現場事務所隣地にある医師宿舎を無料で使用できる。（103.304）															
	⑧ 工事用水電力等	本工事に必要とする工事電力、水等は受注者の負担とする。（103.304）															
	⑨ 工事用仮設物及び廃棄物置場	敷地内につくることが ※できる ○できない															
	10 電気保安技術者	※配置を要する ただし電気工事が仮設工事のみの場合は不要とする。															
⑩ 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの ()																
	(2) 特別管理産業廃棄物 ()																
	(3) 再資源化を図るもの () ・ 塩ビ管 ・ 塩ビライニング鋼管 ()																
12 特定建設資材の再資源化等		撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。引渡しを要する配管、ダクト等の保温は分離する。撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理すること。															
		配管、ダクトの支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）の届出の有無															
		※届出を要しない（対象工事でない） ・ 届出を要する（対象工事である） 対象建設工事の場合は、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。 (1) 分別解体の方法															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別解体の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・新築工事等</td> <td>建築設備工事</td> <td>・手作業 ※手作業・機械作業併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別解体の方法	・新築工事等	建築設備工事	・手作業 ※手作業・機械作業併用									
工程	作業内容	分別解体の方法															
・新築工事等	建築設備工事	・手作業 ※手作業・機械作業併用															
		(2) 特定建設資材等廃棄物の種類と再資源化等を要する施設															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th> <th>再資源化等を要する施設名称</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等を要する施設名称	所在地	・コンクリート			・コンクリート及び鉄から成る建設資材			・木材			・アスファルト・コンクリート		
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等を要する施設名称	所在地															
・コンクリート																	
・コンクリート及び鉄から成る建設資材																	
・木材																	
・アスファルト・コンクリート																	

注) (1)、(2)については精算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。

受注者の提示する分別解体の方法、施設等と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

- | | |
|------------------------------|--|
| ① 産業廃棄物管理票 | (財)日本産業廃棄物処理振興センター(http://www.jmnet.or.jp)が運営する「情報処理センター」への登録（電子でファスト）により行うこと。これにより難しい場合は監督職員と協議する。 |
| 14 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出 | 工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事終了時に附計画書の実施報告書(書式は同一、CREDAST-7 010)を監督職員に提出するものとする。 |
| 15 使用機材の選定 | 工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承認を受ける。 |
| 16 機材の検査等 | 現場に搬入したすべての機材について、自主検査記録（任意様式）を提出すること。
ただし、別表に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。
なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種類の機材は以後原則として抽出検査とする。 |
| ① 技能士 | ①配管施工（建築配管作業） ②建築板金施工（ダクト板金作業）
③熱絶縁施工（保温保冷工事作業）
・さく井施工（H-カッパ式さく井工事作業又はH-リリー式さく井工事作業）
④冷凍空調和機器施工（冷凍空調和機器施工作業）
・厨房設備施工（厨房設備施工）
使用する建設機械は排出ガス対策及び低騒音型とする。
※行わない 行う（箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。 |
| 19 排出ガス対策等 | ※行わない 行う（箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。 |
| 20 アスベスト分析 | ※行わない 行う（箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。 |
| 21 アスベスト粉じん濃度測定 | ※行わない 行う
・水道法施行規則第56条第2項による検査項目
（臭気、味、色、色度、濁度、残留塩素）
・建築物における衛生的環境の確保に関する法律第4条第3項による27項目及び残留塩素
・水道法施行規則第10条による全項目及び残留塩素
※ 不要
測定対象化学物質、測定方法、測定時期、測定対象室及び測定箇所数については、監督職員の指示による。 |
| 22 水質検査 | 工事検査の実施等については監督職員の指示による。
現場説明書による。 |
| 23 化学物質の濃度測定 | 電子納品書記仕様による。
貸与する設計図書データの有無（※有り・無し）
貸与するCADデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。 |
| 24 検査 | 配管及びダクトの屋外支持金物
※ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛メッキ（図面記載部分）
標準仕様書第2編2.5.16.12の溶接部の非破壊検査の適用
・ 要く ・ 不要
なお、放射線透過検査の判定基準は監督職員との協議による。 |
| 25 完成図書 | ※ 設ける ・ 設けない
※ 設ける ・ 設けない |
| 26 電子納品 | 配管支持部や、保温を施さない鋼管類でコンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、防食ビニールテープ巻き1/2重巻1回巻きとする。
配管に設ける弁類には、開閉表示を（※行う・行わない）
（土中埋設の弁類も同様） |
| ① 屋外支持金物 | ① 保温工事
図面に特記のない場合の保温材は下記によるほかSHASE-S 010-2007による。
一 一般 ※ グラスウール
屋上、多湿箇所（給水管）※ ポリスチレンフォーム
〃（給水管以外）※ グラスウール ・ ロックウール
防火区画貫通部 ※ ロックウール
高温部 ※ ロックウール |
| 2 溶接部の検査 | 図面に特記のない場合の保温箇所は下記によるほか標準仕様書第2編による。
・ 保温要（・ 消火管）
※鉛・クロムフリーさび止めペイント（JIS K 5674）
・ シアナメッド鉛さび止めペイント（JIS K 5625） |
| 3 地中埋設機 | 養生範囲（図面記載箇所）
養生方法（図面記載） |
| 4 埋設機繊維テープ | ※別契約の関係工事で定置したものは無償で使用できる。
②本工事で設置する。
内部足場の種別 ※脚立、足場板等
外部足場の種別 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
（A種： 施工箇所面に枠組足場を設ける
B種： 施工箇所面に単管本足場を設ける
C種： 仮設ゴンドラを使用する
D種： 移動式足場を使用する） |
| 5 管の防食 | 設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）における手すり設置方式又は手すり先行専用足場方式に基づき設置すること。
・ 外部足場の防護シートによる養生
（・ 養生ネット ・ 養生シート（Ⅰ類 ・ Ⅱ類） ・ ネット状養生シート（Ⅰ類 ・ Ⅱ類）
・ 防音シート ・ 防音パネル）
※ 根切り土の中の良い土質（ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）
・ 山砂の類 |
| 6 弁類の開閉表示 | ※構内敷きならし
・ 構外搬出適正処理 片道の運搬距離（ ）km、処分費及び整地費 無償
・ 構内指示の場所にたい積
なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。 |
| ① 保温工事 | 土留め工法は、（※軽量鋼矢板先行工法 ・ ）とする。
※ 行わない 行う（ ）
ただし現場での試験を行わない場合は工場で試験成績書を出すこと。
図面に特記なき場合は「工事区画表」による。ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議する。 |
| ⑧ 垂れつき以外の鉄道のさび止め塗装 | 一般敷地内では管の上端より（※300mm ・ mm）以上とし、構内道路は（※600mm ・ mm）以上とする。
凍結深度（mm）以上とする。 |
| ⑨ 養生 | 改修工事ではつり作業を行う場合の、非破壊検査による埋設物の事前調査を
※ 行う ・ 行わない |
| ⑩ 足場その他 | 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、経面材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジベンチル及びフタル酸ジエチルベンチルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロルを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロルを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 |
| 11 埋戻し土及び盛土 | |
| 12 残土処分 | |
| 13 配管施工時の土留め | |
| 14 コンクリート圧縮強度試験 | |
| 15 関連する工事との施工区分 | |
| 16 配管区設深さ | |
| 17 凍結深度 | |
| 18 非破壊検査 | |
| 19 建築材料等 | |

- | <p>㊟ ステンレス鋼管継手</p> <p>21 鋼管用伸縮管継手</p> <p>22 絶縁継手・絶縁フランジ</p> <p>23 ポンプの極数</p> <p>24 水槽類</p> <p>㊟ 耐震施工</p> | <p>5) 上記1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は下記による。</p> <p>メカニカル形管継手（※ 拡管型 ・ プレス型 ）</p> <p>・ ベロー型型 ・ スリーブ型</p> <p>異種金属間の接合箇所に取り付ける。</p> <p>ポンプの極数は、（ ※ 4極 ・ 2極 ）とする。</p> <p>ただし、加圧給水ポンプについてはこの限りではない。</p> <p>水槽類のオーバーフロー管及びドレン管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。</p> <p>設備機器・配管等の支持、固定は「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」及び「建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）2005年版」による。設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度1、機器の質量を乗じたものとする。</p> <p>設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|------------|---------|---|--|---------|--|--|---------|--------------|--------------|-----|-----|-----|------|---------|-----|-----|------|----------------|-----|-----|
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="3">設備耐震クラス分類</th></tr> <tr> <th>㊟クラス</th><th>aクラス</th><th>bクラス</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階・屋上階及び塔屋</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.2</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.72</td></tr> <tr> <td>地下階及び1階</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.48</td></tr> <tr> <td>地下階及び1階に設置する水槽</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.72</td></tr> </tbody> </table> | 設置場所 | 設備耐震クラス分類 | | | ㊟クラス | aクラス | bクラス | 上層階・屋上階及び塔屋 | 2.0 | 1.5 | 1.2 | 中間階 | 1.5 | 1.0 | 0.72 | 地下階及び1階 | 1.0 | 0.6 | 0.48 | 地下階及び1階に設置する水槽 | 1.5 | 1.0 |
| 設置場所 | 設備耐震クラス分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ㊟クラス | aクラス | bクラス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上層階・屋上階及び塔屋 | 2.0 | 1.5 | 1.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中間階 | 1.5 | 1.0 | 0.72 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地下階及び1階 | 1.0 | 0.6 | 0.48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地下階及び1階に設置する水槽 | 1.5 | 1.0 | 0.72 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>本施設は（ ※ 防災上重要な施設 ・ 一般の施設 ）とする。</p> <p>機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th><th>防災上重要な施設</th><th>一般の施設</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㊟クラス</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ポンプ類 ・ 無線室等の空調機類 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災機器 </td></tr> <tr> <td>aクラス</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱源機器 <ul style="list-style-type: none"> （ ・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 温水機 ・ ・ 冷却塔 ・ 空調機 ・ ガス機器 ・ 配管・ダクト </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク類 ・ ポンプ類 ・ ガス機器 </td></tr> <tr> <td>bクラス</td><td>s、aクラス以外の機器等</td><td>s、aクラス以外の機器等</td></tr> </tbody> </table> | クラス | 防災上重要な施設 | 一般の施設 | ㊟クラス | <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ポンプ類 ・ 無線室等の空調機類 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災機器 | aクラス | <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱源機器 <ul style="list-style-type: none"> （ ・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 温水機 ・ ・ 冷却塔 ・ 空調機 ・ ガス機器 ・ 配管・ダクト | <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク類 ・ ポンプ類 ・ ガス機器 | bクラス | s、aクラス以外の機器等 | s、aクラス以外の機器等 | | | | | | | | | | | |
| クラス | 防災上重要な施設 | 一般の施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ㊟クラス | <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ポンプ類 ・ 無線室等の空調機類 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災機器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| aクラス | <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱源機器 <ul style="list-style-type: none"> （ ・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 温水機 ・ ・ 冷却塔 ・ 空調機 ・ ガス機器 ・ 配管・ダクト | <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク類 ・ ポンプ類 ・ ガス機器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| bクラス | s、aクラス以外の機器等 | s、aクラス以外の機器等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※あと施工アンカーは原則としておねじ形とし、めねじ形を使用する場合は監督官と協議すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>① 設計条件</p> <p>2 ばい煙濃度計</p> <p>3 ばいじん量測定口</p> <p>④ チャンバー</p> <p>⑤ 吹出口・吸込口</p> <p>⑥ ダンパー</p> <p>⑦ 矩形ダクト</p> <p>⑧ 冷媒ガス</p> <p>⑨ 配 管 材 料</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">屋 外</th><th colspan="2">屋 内（調整目標値）</th></tr> <tr> <th>温 度（DB）</th><th>湿 度（RH）</th><th>温 度（DB）</th><th>湿 度（RH）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期・</td><td>33.8℃</td><td>60%</td><td>25℃</td><td>50%</td></tr> <tr> <td>冬期・</td><td>3.3℃</td><td>33%</td><td>24℃</td><td>40%</td></tr> </tbody> </table> <p>※厨房は除外とする</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>・ 設けない</p> <p>・ 設ける（口径80mm以上でフランジ付とし、導線の直線部分に設ける。）</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) 空気調和機の吸込側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm以上とする。なお、製作及び取付は共通仕様書のアングルフランジ工法ダクトの当該事項による。図示されたチャンパーには、450×600の点検口を設ける。</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>※ アルミニウム製 ・ 鋼製</p> <p>(1) 防煙ダンパー</p> <p>操作方式 瞬時通電式又は電動式（DC24V 0.7A以下）</p> <p>復帰方式 ・ 遠隔 ・</p> <p>定格入力値 DC24V 0.7A以下とする。</p> <p>(2) ビストンダンパー</p> <p>復帰方式 ・ 遠隔 ・</p> <p>低圧ダクト ※ コーナーボルト工法（共板工法） ・ アングルフランジ工法</p> <p>コーナボルト工法は長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用する。</p> <p>※ R410A ・ R407C（既存） ・ R22（既存）</p> <p>冷 媒 管 ※ 断熱材被覆鋼管</p> <p>・ 銅管</p> <p>冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）</p> <p>・ 鋼管</p> <p>冷却水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）</p> <p>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VA）</p> <p>※ 一般配管用ステンレス鋼管</p> <p>排 水 管 ㊟ 配管用炭素鋼鋼管（白）</p> <p>※ 硬質塩化ビニル管（VP）（機器廻り）</p> <p>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡3層管（RF-VP）</p> <p>㊟ 加湿器からのドレン管はステンレス鋼管とする</p> <p>蒸 気 管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）（注）</p> <p>・ 圧力配管用炭素鋼管</p> <p>・ 一般配管用ステンレス鋼管（選）</p> <p>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</p> <p>ブライン管 ※ 保温化粧ケース</p> <p>屋内露出 ※ 保温化粧ケース ○ ステンレス鋼板 ・</p> <p>屋外露出 ※ 保温化粧ケース</p> <p>なお、保温化粧ケースは塩化ビニル樹脂製とする。</p> <p>図面に特記のない場合の保温箇所は下記によるほか標準仕様書第2編による。</p> <p>・ 保温要（ ・ 換気用ダクト ・ ）</p> <p>天井カセット型空調室内機にはパネル落下防止措置を行う。</p> <p>天井ふところが1.5m以上の場合は掘れ止めを行う。</p> <p>空調室内機パネル落下防止 ・ 掘れ止めは本特記仕様書参考図による。</p> <p>各機器の試運転調整後に行う総合調整は下記によるものとする。</p> <p>・ 行わない ※本工事で行い、下記項目の測定表を提出する。</p> <p>総合調整の項目</p> <p>㊟風量調整 ※水量調整 ※室内外空気の温湿度の測定</p> <p>㊟室内気流及びじんあいの測定</p> <p>㊟騒音の測定</p> <p>測定箇所等は監督職員の指示による。</p> | | 屋 外 | | 屋 内（調整目標値） | | 温 度（DB） | 湿 度（RH） | 温 度（DB） | 湿 度（RH） | 夏期・ | 33.8℃ | 60% | 25℃ | 50% | 冬期・ | 3.3℃ | 33% | 24℃ | 40% | | | |
| | 屋 外 | | 屋 内（調整目標値） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 温 度（DB） | 湿 度（RH） | 温 度（DB） | 湿 度（RH） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏期・ | 33.8℃ | 60% | 25℃ | 50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬期・ | 3.3℃ | 33% | 24℃ | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

○ 排煙設備	1 ダクト 2 排煙口の形式 3 排煙口開放装置 4 排煙風量測定	※ 亜鉛鉄板 ※ 天井取付 ・ 壁取付 ※ 電気式（遠隔復帰・要・不要） ・ ウィヤース 建築設備定期検査業務基準書 平成20年度版（（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
● 衛生器具設備	1 大便器洗浄水量 2 隅付ロータック 3 掃除流し ④ 水栓	大便器の洗浄水量は8.5L以下とする。（隅付ロータックを除く） ただし、器具の標準洗浄水量が6.5L以下の場合は、8Lに調整すること。 ※ 防露型 ・ 普通型 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓 コマ形式 ※ 節水コマ ・ 吊りコマ ・ 普通コマ
● 屋内給水設備	① 配管材料 ② 配管接合	屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ 土中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD） ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする）
屋外給水設備	1 引込み納付金 2 量水器 3 量水器樹 4 配管材料 5 配管接合 6 緊急遮断弁装置	※ 不要 ※ 貸与品 ※ 水道事業者の規格 ・ 標準図形 土中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VU）（40A 以下） ※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上） ・ 架空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする） 駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式
● 屋内排水設備	① 配管材料 汚水 通気 ② 試験 ③ その他	雑排水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼管（白） ※ 一般配管用ステンレス鋼管 高温排水（加温器排水） 汚水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ メカニカル形排水用銅管 ・ 通気 ※ 配管用炭素鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ ビット内 ・ 満水試験 ※ 行わない ・ ※ 行う 煙試験 ※ 行わない ・ ※ 行う 流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フッキジョイントによる接続は不可）
屋外排水設備	1 放流納付金 2 配管材料 3 樹類	※ 不要 ・ 要（・別途工事・本工事） ※ 硬質塩化ビニル管（VP）（※ 125A 以下 ・ A 以下） ・ 硬質塩化ビニル管（VU）（※ 150A 以上 ・ A 以上） ※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）（150A 以上） 改良樹は本特記仕様書標準図による。 小口径樹防護ハットは本特記仕様書標準図による。 蓋は汚水、雨水等の文字を入れ、鎖付とする。
● 給湯設備	① 配管材料	・ 保温付被覆鋼管 ※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
● 消火設備	① 配管材料 ② スプリンクラーヘッド 3 屋内消火栓箱	屋内一般 ※ 配管用炭素鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼管（STPG370 白管 sch40） 土中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ※ マルチ ・ ※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。
○ ガス設備	1 ガスの種類 2 配管材料 3 ガスメーター 4 ガス漏れ警報機 5 緊急遮断弁 6 試験 7 その他	・ 都市ガス 13A 45MJ ・ 液化石油ガス 102MJ 屋内一般 ※ 配管用炭素鋼管（白） 土中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP・PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE） ※ 貸与品 ・ 本工事 外部出力端子（※ 有・無） ・ 設けない 保持時間は24分以上とし、記録計による測定表を提出する。 ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。
○ 厨房機器設備	1 厨房機器	別添厨房機器図面による。

空調設備工事特記仕様書

浄化槽設備

1 処理方式

2 処理能力

3 本体構造

4 放流水質

5 配管材料

6 土留め工法

7 報告

合併処理
・ 建築基準法施行令第35条の認定品による
・ 建設省告示第1292号による。第() (方式)
処理対象人員 人
処理水量 m3/日
・ コンクリート製
・ FRP製
BOD ppm 以下
・ 一般配管用ステンレス鋼管 ()
・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 ()
・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ()

さく井設備

1 種別

2 掘削方式

3 ケーシング

4 ストレーナー

5 電気検査

6 水質検査

・ 浅井戸
・ 深井戸
・ ローター式
・ パーカッション式
・ ダウンザホールハンマ式
※ 配管用炭素鋼鋼管(黒)
・
※ ステンレス製巻線型
・
※ 連続測定
・ スポット測定
※ 行う(原水全項目)
・ 行わない

撤去工事

● ① 冷媒(フロン系)の回収及び破壊

○ 無
(1) 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」に従って行うこと。
また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。
(ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し
(イ) フロン類の最終処理に関する証明書
(2) 行程管理票の様式は、監督員の指示による。
(3) 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル(フロン類の回収を含む。)を行ない、監督員に次の書類を提出する。
(ア) 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し

※ 有

別表

名称

配管類
・ 給水管
・ 排水管
・ 冷温水管
・ 冷媒管

弁類
・ 仕切弁
・ バタフライ弁
・ 逆止弁
・ 緊急遮断弁

ポンプ類
・ 給水用ポンプ
・ 空調用ポンプ
・ 消火ポンプ

※タンク類
・ 受水槽
・ 高架水槽
・ 貯湯槽
・ 膨張水槽

※空調和設備工事用機材
・ パッケージエアコン
・ 空調和機(AHU)
・ 冷却塔
・ ヘッダー

※自動制御機器類
・ 中央監視盤
・ リモート盤

給排水衛生設備工事用機材
・ 衛生器具
・ 水栓
・ 組立てマンホール

※浄化槽
・ FRP浄化槽
・ 動力盤、制御盤
・ ブロワー

※さく井
・ スクリーン

その他
・ スリーブ(つば付銅管)

表のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。
○印のない場合は、※印を適用する。

その他

1) ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。

〈空調屋内機パネル落下防止・振れ止め参考図〉

天井ふところ(H)が1.5m以上の場合は、吊りボルトと同材を用いて斜め補強を4面に施す。
斜め補強は、1面につき1本とし、手前と奥の斜め材が相対する方向に配置する。*

吊ボルト
振止め支持金具
吊ボルト位置調整金具
(吊ボルトの位置調整が必要な場合)
防振吊金具
ワイヤー(φ1mm程度) 対角に設置
(200mm程度の余長を確保すること)
パネルの本体にワイヤーを固定

※天井ふところ(H)が大きく参考図の振れ止めが有効でない場合は、監督職員と協議すること。

施工条件

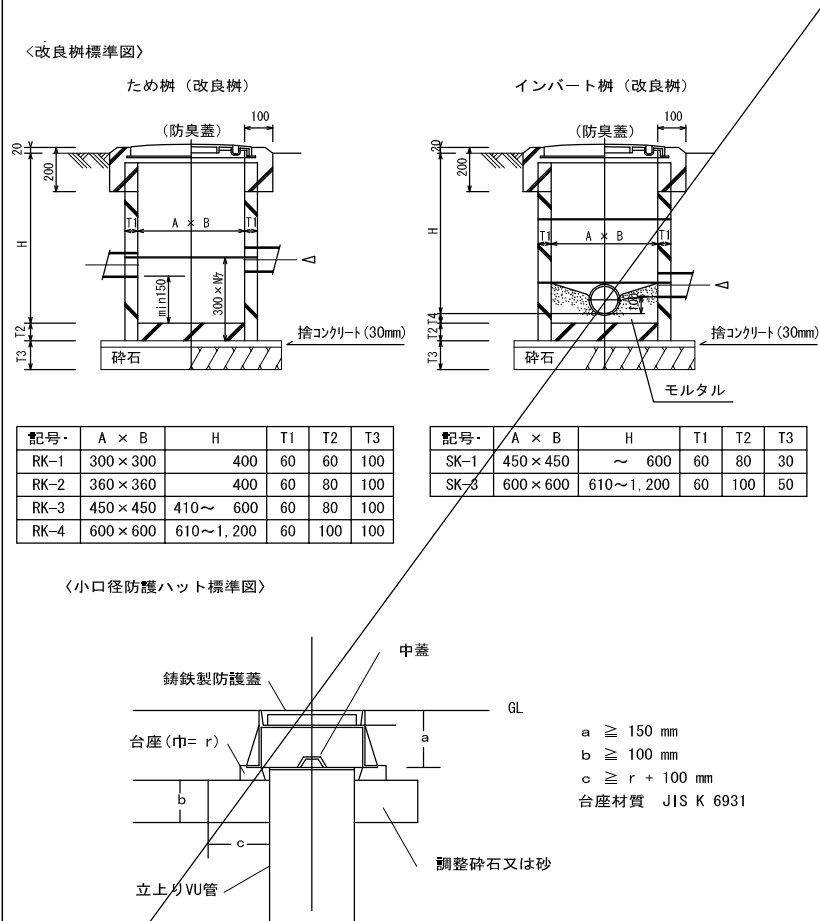
※ 床天井スラブへのアンカー打設・はつりは、病院の業務に影響がない様に施工するこる。
(基本的に土・日・祝日作業とする。)

※ 地階廊下など、第三者の通行を妨げる施工に関しては、土・日・祝日又は、夜間作業とする。

※ 下階天井内の既設排水配管の撤去更新時は、下階の制限を院内にかけて頂き施工すること。

※ 仮囲いエリア外の作業を行う場合は、床・壁の養生を行い、清掃を行う事。

※ 請負者は、安全計画等及び消防各種届出・協議、特定施設届出・協議を行う事。



1	工事区分表																																	
	工事項目	建築	電気	機械 空調	衛生		別途	備考		工事項目	建築	電気	機械 空調	衛生		別途	備考		工事項目	建築	電気	機械 空調	衛生		別途	備考								
1	仮設工事 仮囲い、出入口ゲート等	○							72	点検口（壁）	○							143	水適用液面制御スイッチ 電極棒				○			214	減面水ユニット							
2									73	点検口（天井）	○							144	小出着及び給油管							215	オーダリング					○		
3	仮設工事 仮設建物 監督員事務所	○	○	○	○				74	換気扇本体								145	防犯設備用配管工事							216	電波障害対策費、近隣説明等対策費					○		
4	仮設工事 仮設建物 現場事務所、作業員詰所	○	○	○	○				75	換気扇取付枠								146	防犯設備 機器本体及び配線工事							217	無影灯	○						
5	仮設工事 工所用仮設電力、給水、排水、浄化槽等	○	○	○	○				76	換気扇取付工事								147	冷凍庫、冷蔵庫の冷却設備及び内装設備							218	各種医療機器関係に必要な下地鉄骨・埋込アンカー	○						
6	仮設工事 監督員用備品（各工事で特記したものを除く）	○							77	煙感知器連動シャッター及び扉本体								148	洗浄機器						○	219	各種医療機器用の無停電電源装置	○	○					
7	スリーブ等貫通孔 スリーブ、箱入れの開口補強	○							78	煙感知器連動シャッター及び扉用レリーズ								149	医療機器						○									
8	スリーブ等貫通孔 スリーブ、箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○				79	煙感知器連動ハッチ及び扉用感知器・配管配線・制御盤								150	駐車場の排水溝・泥溜マス及び蓋							300	揚重機器(8S,9S,4N)設備含む 計4回	○						
9	天井・壁開口 畳出し	○	○	○	○				80	煙感知器連動防煙垂壁 本体及び開錠機構								151	駐車位置の白線引工事															
10	天井・壁開口 切り込み穴あけ	○							81	煙感知器連動防煙垂壁用レリーズ								152	屋外排水溝及び蓋															
11	天井・壁開口 開口補強	○							82	煙感知器連動防煙垂壁用感知器・配管・配線・制御盤								153	屋外排水管雨水排水工事及び会所（第1マス以降）															
12	設備機器取付け用ALC板、PC板、石の穴あけ及び、補強	○	○	○	○				83	自然排煙口手動オペレーター装置等付風機器								154	屋外排水管雑排水工事及び会所															
13	設備機器取付け用ブロックの開口取付け枠	○	○	○	○				84	煙感知器連動防火・防煙ダンパーのレリーズ								155	屋外配水管汚水排水工事及び会所（インバート）															
14	機器搬出入・据付け用フック、I・ビーム								85	煙感知器連動防火・防煙ダンパー用煙感知器・配管配線								156	電気引込マンホール															
15	電気配線用ビッド、線金物、蓋	○							86	非常口電気錠開錠機構本体								157	電話引込マンホール															
16	上げ床コンクリート打込及び、仕上 電気、発電機室	○							87	非常口電気錠用レリーズ								158	植木															
17	上げ床コンクリート打込及び、仕上 空調、衛生機械室	○							88	非常口電気錠用配管配線及び制御盤								159	植込部客土															
18	自家発電機室内オイルタンク用防油堤及び、釜場								89	スプリンクラー電気工事 1次側電源送り		○						160	フロアードレイン及び排水接続															
19	屋上及び、屋外設置機器の基礎及び、補強								90	連結送水管ボックス								161	ルーフドレイン、雨水堅壁及び横引配管							2	付近見取り図							
20	同上、仕上								91	補助散水栓箱				○				162	雨水堅壁から外構排水までの横引配管及び接続															
21	同上アンカーボルト、箱入、埋込み								92	補助散水栓内押釦及び起動表示灯				○				163	プラスチックフタ															
22	屋内設置機器の床上基礎及び、補強								93	補助散水栓位置表示灯				○				164	監視室監視盤と昇降路間の通信用配管配線(シャフト内)															
23	同上仕上								94	補助散水栓配管配線		○						165	監視室監視盤と昇降路間の通信用配管配線(シャフト外)															
24	同上アンカーボルト、箱入、埋込み								95	消火器					○			166	昇降機械室換気設備・冷房設備受電盤端子までの動力															
25	屋内設置機器の床下基礎及び、補強								96	消火器収納箱(埋込型)								167	昇降機設備照明用配管配線接続線の引込工事															
26	汚水槽 コンクリート水槽(躯体)及び防水工事・仕上								97	自動扉及び制御盤(操作機器)								168	昇降機設備 弱電用配管配線の引込工事															
27	雑用水槽 コンクリート水槽(躯体)及び防水工事・仕上								98	自動扉 二次側配管配線								169	昇降機設備 及び二次側電気工事															
28	消火水槽 コンクリート水槽(躯体)及び防水工事・仕上								99	自動扉用操作用電源供給配管配線工事								170	昇降機械室と各階乗り場間の信号用配管配線															
29	冷却水槽 コンクリート水槽(躯体)及び防水工事・仕上								100	電気錠								171	各階乗り場信号装置の壁面取付工事															
30	水槽内 マンホール及び、タラップ(高温水槽)								101	電気錠 二次側配管配線								172	昇降機械室床開口(主ロープ、調速機・配管用孔等															
31	水槽内 マンホール及び、タラップ(汚水・雑排水槽)								102	電気錠用操作用電源供給配管配線工事								173	昇降機械室上げ床コンクリート打込及び仕上工事															
32	暖気配管用トレンチ及び、二重ビッド								103	電気錠及び制御盤								174	昇降機械室内荷揚げフック設置工事															
33	暖気配管用トレンチ及び、二重ビッドの防水工事								104	電動シャッター及び制御盤								175	昇降機室内保安灯、蓄電池															
34	暖気配管用トレンチ及び、二重ビッドのマンホール・タラップ								105	電動シャッター 二次側配管配線								176	昇降機室内スピーカー取付															
35	暖気配管用トレンチ及び、二重ビッドの排水、換気、通気								106	電動シャッター 操作用電源供給配管配線工事								177	昇降機室内ビッド防水															
36	コンクリートダクト内面仕上								107	カーテンレール						○		178	昇降路内軌条、中間ビーム、ブラケットなどの鋼材取付及び防錆塗装															
37	地下構壁外防水・排水								108	ブラインド								179	昇降路ビッド内保安用コンセント															
38	機器廻りの排水				○	○			109	カーテン							○	180	昇降路ビッド内保安用はしご及び取付工事															
39	光天井の内面仕上								110	看板サイン								181	各階乗り場出入口の敷居受用持出し工事															
40	厨房機器								111	看板サイン 取付用下地補強								182	各階乗り場 呼出押釦、位置表示機用コンクリート穴あけ															
41	厨房機器 用フード・扉板及び取付								112	看板サイン 電源供給配管配線								183	昇降乗り場三方枠・化粧パネル															
42	厨房機器 配管及び接続								113	各種銘板		○						184	自家発電用の供給			○												
43	厨房機器 用電源配管配線								114	設備機器表示板		○	○	○				185	消火設備用水槽(既製品)															
44	厨房上げ床コンクリート打								115	避雷導体用鉄筋溶接工事								186	消火設備用水槽(既製品) 接続配置															
45	厨房 グリーストラップ								116	煙突								187	手術室内装他(詳細は手術室工事区分表)															
46	厨房 床排水ビッド								117	煙道及び煙突への接続								188	医療ガス設備 機器・配管					○										
47	厨房 線金物及び蓋								118	オイルタンク コンクリート製外枠								189	医療ガス設備 アウトレット					○										
48	浴槽、バスユニット、シャワーユニット本体								119	オイルタンク 乾燥砂、防水								190	医療ガス設備 アウトレット及び配管の接続・検査・試験					○										
49	浴槽、バスユニット配管及びダクト接続								120	オイルタンク、防油堤及び排水ビッド								191	医療ガス設備 フォールユニット															
50	浴槽、バスユニット配管用電源配管配線								121	オイルタンク 通気								192	医療ガス設備 制御盤までの電源引込工事					○										
51	流し台(造り付け、既製品、排水トラップ付)	○							122	オイルタンク 油液面指示装置配管配線								193	医療ガス設備 マニホールドのボンベ							○								
52	流し台 ドラムトラップ				○				123	オイルタンクオイルタンク、オイルサービスタンク ギャポンプ及び配管工事								194	医療ガス設備 液酸タンク基礎															
53	流し台 接続工事				○				124	電気ヒーター								195	医療ガス設備 予備酸素マニホールドのボンベ及び液酸							○								
54	陶器製流し・洗面化粧台				○				125	電気ヒーター二次側電源送り								196	医療ガス設備 機器の基礎															
55	化粧鏡(既製品450×600)				○				126	ファンコイルユニット 化粧甲板及び吹出ガラリ			○					197	シャカステン															
56	化粧鏡(既製品450×600以外のもの)								127	ファンコイルユニット スイッチ用配管配線				○				198	外構工事(整地、客土)															
57	化粧棚、小便幅板								128	ファンコイルユニット 吸込フィルター本体				○				199	外構工事(舗床、縁石)															
58	電気湯沸器オーバーフロー管								129	パッケージ 制御盤				○				200	外構工事(排水工事)															
59	湯沸器								130	パッケージ 負荷側配管配線				○				201	外構工事(U形側溝、側溝群、排水溝)															
60	湯沸器用フード								131	空調自動制御機器				○				202	外構工事(植栽、支柱)															
61	洗濯機パン及び取付工事								132	空調自動制御機器 配管配線				○				203	外構工事(外部照明)															
62	洗濯機パン 排水接続工事								133	空調自動制御機器 電源供給		○						204	特殊排水処理設備 内部装置(感染系排水処理)						○									
63	外部取付ガラリ(外気取入、排気、換気)								134	動力制御盤		○						205	特殊排水処理設備 通気管(感染系排水処理)						○									

●空冷パナチオン型空気調和機（EHP）

機器記号	系統		形式	設置形式	冷房能力	暖房能力	圧縮機		送風機（室内機）				送風機（室外機）			加湿器				フィルタ			設置台数	平舞台・コンクリート基礎	備考・参考型番			
									風量	機外静圧	電動機			電動機	方式	有効量	消費電力	制御方式	種別	性能								
	記号：個別－対象階－番号	室外機系統					代表室	(kW)	(kW)	(相)	(V)	(kW)	(m3/h)	(Pa)	(相)	(V)	(kW) (W)	(相)		(V)	(kW) (W)	(L/h)				(相)	(V)	(W)
室内機																												
ACP	－	1		細胞処理室	電気熱源空冷ヒートポンプビル用マルチ	床置き型	14	16	3	200	2.8	－	－	－	－	3	200	1.94	－	－	－	－	－	－	1	防振架台、チャンネルベース、コンクリート基礎は本工事		
室内機																												
ACP	－	1	－	1	ACP－1－1	細胞処理室	電気熱源空冷ヒートポンプビル用マルチ	クリンルーム用天井カセット型	7.1	8.0	－	－	－	900	－	1	200	165	－	－	－	－	－	交換型HEPAフィルタ	計数法	99.97	1	
ACP	－	1	－	2	ACP－1－1	細胞処理室	電気熱源空冷ヒートポンプビル用マルチ	クリンルーム用天井カセット型	7.1	8.0	－	－	－	900	－	1	200	165	－	－	－	－	－	交換型HEPAフィルタ	計数法	99.97	1	

1. 暖房能力は補助加熱器の加熱能力を含む。

2. 圧縮機は（○室内機●室外機）内設置とする。

3. 冷房・暖房能力はJISによる。

4. 加湿器は送風機とインターロックをとる。

5. 屋内機・屋外機の張り電気配線（アース共）は本工事属し、仕様は製造者標準とする。

6. 予備フィルタは（●現有用数○現有用数の50%未満）とする。

7. 室外機基礎は（○一般基礎●防振基礎）とする。

8. 室外機の基礎ボルト・ナットはステンレス製とする。

9. 屋外機のチャンネルベース、防振架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとし、ボルト・ナットはステンレス製とする。

10. 屋内機は床置き型を除き全てドレンアップ機構付とする。

11. 屋内機用運転リモコンは1室に1台設置し、屋内機との間の配線は本工事とする。

12. 屋内機と屋外機との張り配線は冷媒配管共巻きとし本工事とする。

13. 屋外機はNVの高濃度対策のためアクティブフィルター付きとする。

14. 屋外機の鋼製架台はすべて本工事に含む。

[illegible]

CAV、VAV一覧表

構造記号				系統	用途	形式		設置の方法		仕様				防振架台		架台/基礎/取付枠		設置場所	備考・参考型番			
記号	種	NO	(代表室)		構造	方式	方法	場所	処理風量 (m ³ /h)	接続口径 (mm)	精度	電源 (相)(V)(VA)		台数	有無	仕様	取付平架台 /取付枠			ベース鋼 製架台		
CAV	—	1		細胞処理室	給気	ベンチュリー型	定風量型	天井吊	屋内	400	200	±10%	—	—	—	1	無	—	ボルト吊	—	細胞処理室	
CAV	—	2		細胞処理室	排気	ベンチュリー型	定風量型	天井吊	屋内	100	150	±10%	—	—	—	1	無	—	ボルト吊	—	細胞処理室	

1. アズビル ベンチュリーバルブ相当品とする。

2. 形状は単体とする。

3. ダクト内の静圧の変化に応じて風量を一定に保つ自力式機械機構（圧力独立機構）を有する構造とする。

4. VAVは高速電動式アクチュエータを採用し要求風量の変化への応答速度1秒以内とする。

5. 本体ボディーはアルミニウム製、シャフト・スプリングはステンレス製とする。

6. 給気用バルブはポリエチレン保溫材（10mm）付きとする。

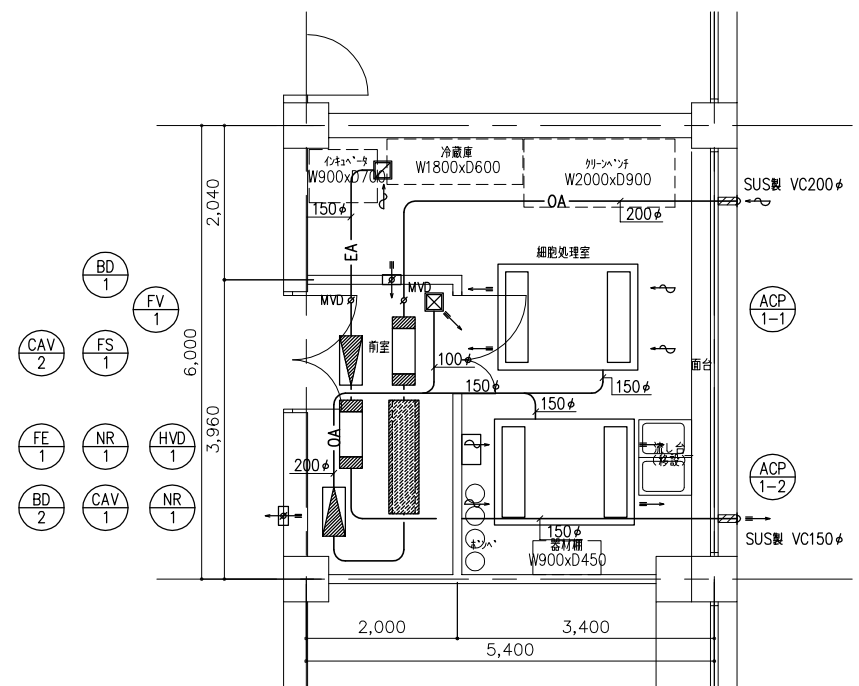
● 定風量・変風量式装置

● 差圧シ ンパ	機器記号				系統	用途	運転モード	BD処理風量	設定室内圧力差	寸法	備考、参考型番
	記号		種	NO	(代表室)			m ³ /h	Pa	mm×mm	
	BD	—	1		前室	給気	陽圧運転	200	5.0	300W×150H	クリフKBD—4相当
	BD	—	2		廊下	給気	陽圧運転	300	5.0	300W×150H	クリフKBD—4相当
1. 壁厚調整のためのサヤ管を附属する。											

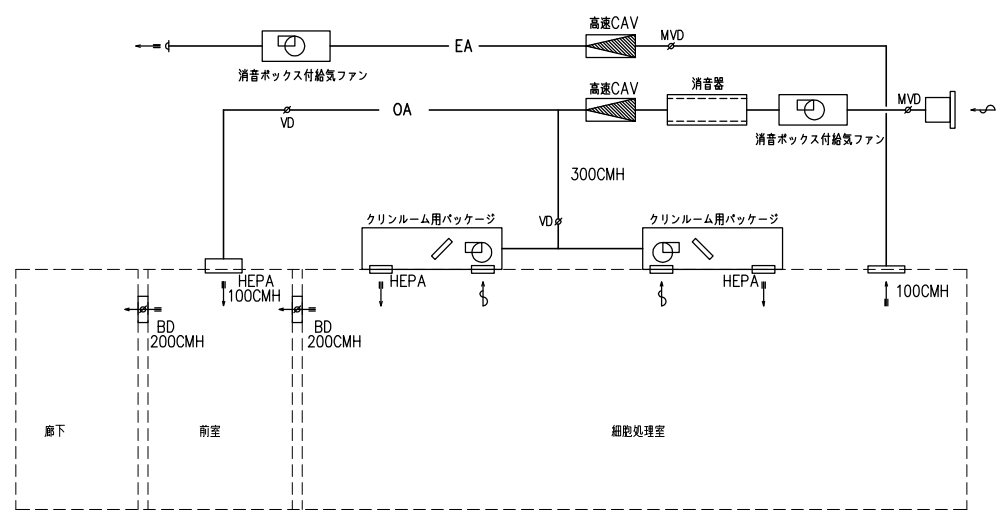
消 音 器	機器記号				系統	用途	形式		設置の方法		仕様										台数	防振架台		架台/基礎/取付枠		設置場所	備考・参考型番																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	記号	種	NO	(代表室)	構造		方式	方法	場所	処理風量				接続口径		減衰量 (dB)				概略寸法 (mm)			圧力損失	有無	仕様			取付平架 台/取付枠	ベース調 製架台																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
										(m ³ /h)	(φmm)	63Hz	125Hz	500Hz	1000z	W	H	L	Pa																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

加 温 器	機器記号		系統	形式	設置形式	方式	有効加熱量 (kg/h)	消費電力			制御方式	設置台数	備考・参考型番
	記号：番別・対象階・番号		(代表室)					(相)	(V)	(kW)		(台)	
	HUM — 1		細胞処理室	電極式蒸気加温	室内 壁掛型	室内調節噴霧	3	3	200	2.3	二位置ヒューミディスタットによるON-OFF制御	1	ウェットマスター（韓）WM-SEB03FA相当
	<p>1. 本体前面に運転状態や警報を表示する機能を有する事。</p> <p>2. 最大蒸気発生量の20~100%の範囲内における出力調整機能を有する事。</p> <p>3. 本体取付用の架台を附属する。</p>												

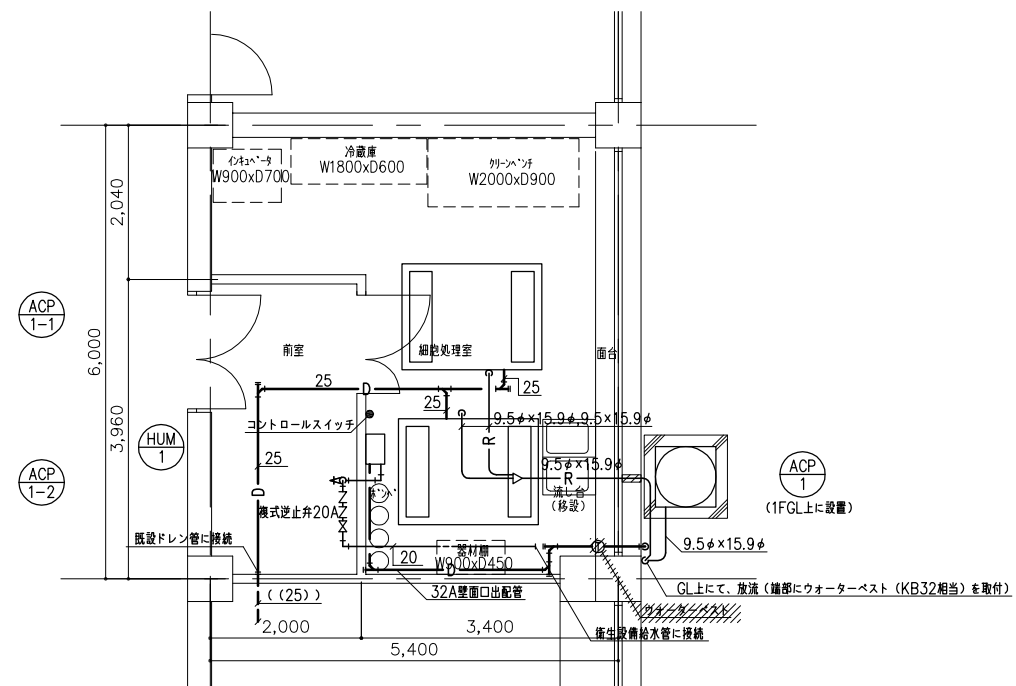
[illegible]



空調ダクト平面図 S=1/50

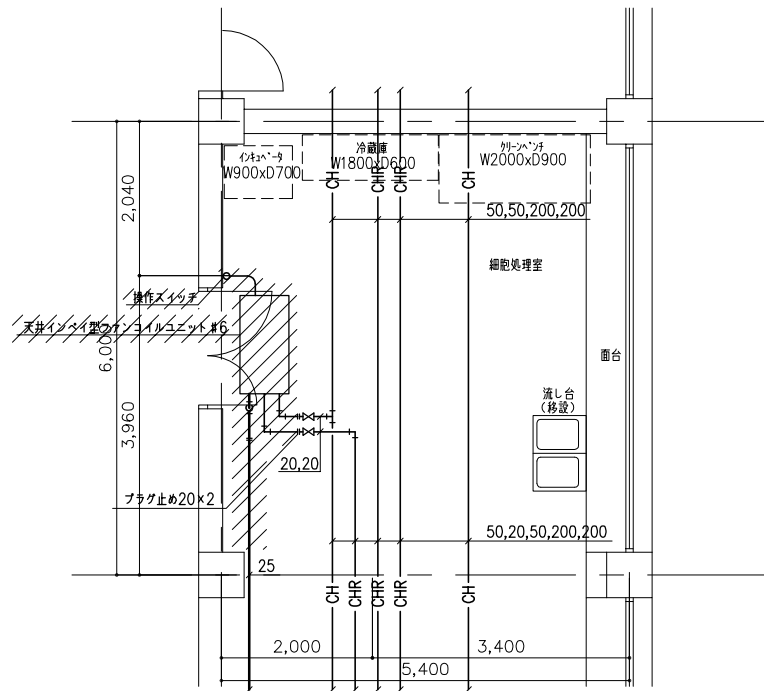


ダクトフロー図

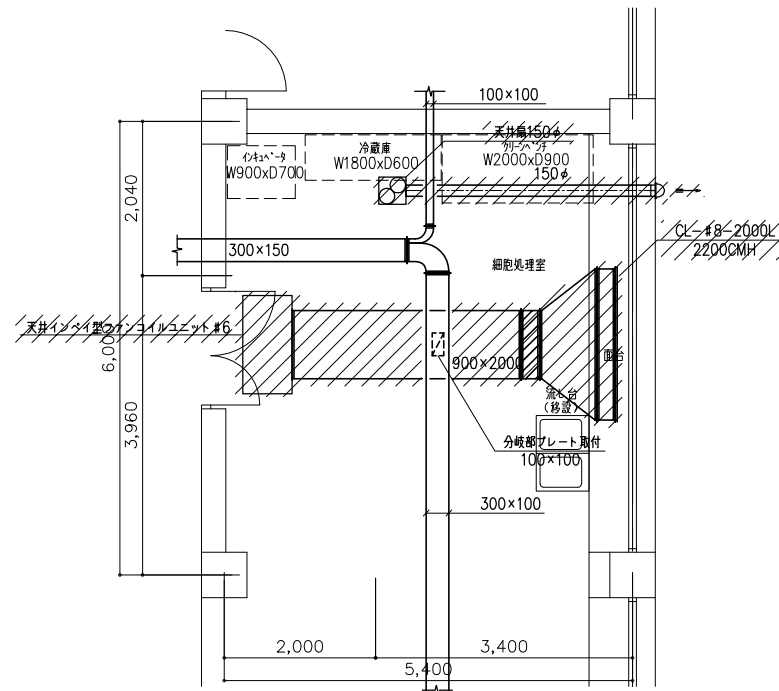


空調配管平面図 S=1/50

※既設スプルンカラー配管は、改修エリアの配管は撤去し、前室のみヘッドと新設する。

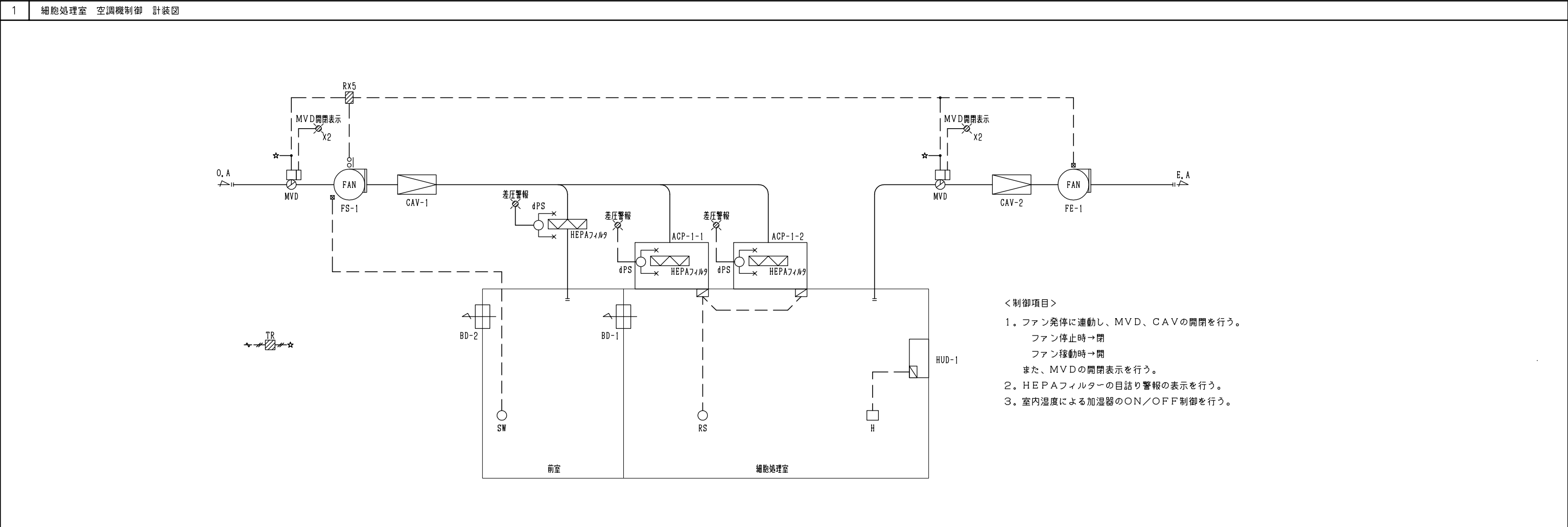


空調設備 配管撤去図 S=1/50



空調設備 ダクト撤去図 S=1/50

注記：
1. 図中  は撤去部分を示す。



2

自動制御機器・盤表

記号	名称	形番	備考
dPS	圧力スイッチ	PYY-604	
H	室内型湿度調節計	HY6000Z	
MVD	ダンパーモータ	MY6050A+QY6051B	開閉スイッチ付
TR	トランス	AT72-J1	

盤名	形状	参考寸法			収納系統名	備考
		W	H	D		
自動制御盤	壁掛盤	700	700	250	細胞処理室 空調機制御 (HEPAフィルター差圧警報・MVD開閉表示)	

3

改修平面図

A1: 1/50 A3: 1/100

シンボル	記号	配線	配管	
			屋内	屋外
△	dPS	CVV2φ - 2C x 1	(コロガシ)	
○	H	CVV2φ - 2C x 1	(PF22)	
□	MVD	CVV2φ - 3C x 1	(コロガシ)	
○	RS	CVVS2φ - 2C x 1	(PF22)	
- A -				
CV3.5φ		- 3C x 1 (E25)	AC	
CPEV0.9		- 3P x 1 (E25)	FS-1 運転信号	
- B -				
CVVS2φ		- 2C x 1 (冷媒管共巻)	ACP内外渡り	